

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 平成 25 度 第 1 回定時総会

議 事 録

- 日 時 平成 25 年 10 月 24 日 (木) 午後 7 時 00 分～8 時 00 分
場 所 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
次 第
1. 開会の辞
 2. 議長選出
 3. 議長挨拶
 4. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 5. 会長挨拶
 6. 資格審査報告
 7. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 特例民法法人決算に関する件
 - 2) 第 2 号議案 公益法人移行後事業計画に関する件
 - 3) 第 3 号議案 公益法人移行後予算に関する件
 - 4) 第 4 号議案 新役員に関する件
 8. 報告事項
 - 1) 理事会承認事項 特例民法法人事業報告
 - 2) 特例民法法人監査報告
 9. 議事録署名人選任
 10. 総会役員解任
 11. 閉会の辞

議事概要

1. 開会の辞

定刻どおり吉本副会長より平成 25 年度第 1 回定時総会開会の辞があった。

2. 議長選出

議長選出について、総会出席者中より立候補者がいないため、執行部から議長候補者として上遠野明氏（南大阪病院）と安江智美氏（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター）の 2 名の提案があり、出席会員の挙手をもって承認された。

3. 議長挨拶

上遠野議長より議長就任の挨拶があった。

4. 総会役員選出

1) 資格審査委員兼議事運営委員任命

上遠野議長より、資格審査委員兼議事運営委員として理事から田畑常務理事ならびに高田常務理事の 2 名と、出席者より武岡真由美氏（松下記念病院）、和田恭典氏（大阪赤十字病院）、下本知子氏（小阪産病院）の 3 名が任命され、両委員会の委員長に田畑常務理事が任命された。

2) 書記任命

上遠野議長より、書記として大臨技事務所職員の岩崎和子氏ならびに出口由紀子氏の 2 名が任命された。

以上の総会役員任命について、出席会員の挙手をもって承認された。

5. 会長挨拶

本日はお忙しい中、お集まり頂き有難うございます。歴代会長の松永先生・小林先生・朝山先生・今井先生、ご出席有難うございます。

公益社団法人大阪府臨床検査技師会平成25年度第1回定時総会の総括は大臨技ニュース10月号に掲載しておりますので、公益法人移行の経緯と議案審議についてお話をさせていただきます。

公益法人移行の経緯は、天下りの阻止を目的として公益法人制度改革が平成20年12月1日に施行され、平成25年11月30日迄に一般社団法人か公益社団法人への移行認定を受ける必要があり、申請を行わない場合は解散となります。その間は特例民法法人として5年間の移行期間内において、当会は平成24年12月11日に公益社団法人に移行申請し、平成25年8月26日認定を受け、平成25年9月2日登記を致しました。現在、47都道府県で公益法人へ移行した技師会は、茨城・東京・愛知・滋賀・兵庫・大阪・大分の7技師会です。

議案審議につきましては、9月2日から当会は新法人「公益社団法人大阪府臨床検査技師会」となり、「旧社団法人大阪府臨床検査技師会」は解散することとなりましたので、旧法人の決算承認と新法人の事業計画について総会で審議が必要です。このため本日の総会を開催いたしました。

組織が新しくなり定款も新定款へ変更しました。新定款は先の総会で承認をいただいております新役員についても総会の承認が必要となりますので第4号議案に上げさせていただきます。また、新法人の平成26年3月末までの事業計画と予算についても第3号議案でご審議をお願いいたします。

6. 資格審査報告

田畑委員長より、本日の会員出席者数33名、委任状によるもの2,204名、計2,237名で、平成25年10月24日現在の正会員総数3,179名の過半数を超えており、本総会は成立すると資格審査報告があった。この報告を受け、上遠野議長より定款17条に基づき本総会の成立宣言があった。

ここで、議長を安江議長に交代した。

7. 議案審議

1) 第1号議案 特例民法法人決算に関する件

荒木常務理事より、現決算は公益法人移行のため、変則決算となっていることを伝えた。

平成25年4月から9月1日までの期間進行基準に基づき収益は4対6として決算を行っている。会費収入7,992,000円、事業収入6,992,000円、補助金収入0円、雑収入422,084円当期収入合計15,406,084円。支出の部1で人件費3,078,197円、会議費387,313円、事務経費1,665,963円、事務所費1,236,399円支出の部1で6,367,872円。支出の2は学術研究費6,249,528円、広報費902,090円、情報組織費334,224円、渉外費256,805円、地区事業費628,530円、各種研修費168,184円、各種委員会費68,047円、諸経費1,063,489円で支出の2で9,670,897円。支出1+支出2の合計は16,038,769円で平成25年4月1日から平成25年9月1日までの収支はマイナス632,685円になった。

ご審議の程、よろしく願いいたします。

以上の第1号議案「特例民法法人決算に関する件」は質問、意見もなく挙手多数により承認された。

2) 第2号議案 公益法人移行後事業計画に関する件

①事務局 吉本副会長より

公益法人移行後の平成25年度の事務局の事業計画について述べます。

事務局としては、公益社団法人としての組織体制の確立を目指します。そのために、

1. 各種規程の改訂（理事会）

理事会において、組織運営規程など現行の各種規程を公益社団法人に準拠したものに改訂し、また、必要であれば新たな規程を制定します。

2. 組織運営の充実（総務部）

総務部においては、新規程に準じ、本日の当総会や理事会および各種委員会を開催します。委員会については、本年4月から毎月開催している平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会の準備委員会を引き続き開催します。

会員等の各種表彰については、感謝状表彰や永年会員表彰等に関連する細則の見直しも含め会員の皆様にとってより充実したものとします。

会員への広報については、大臨技ニュースならびに大臨技ホームページの内容を逐次更新し、これらを主軸として有益な情報をリアルタイムで正確に提供します。

各教育機関との連携については、臨床検査教育機関懇談会の開催や各教育機関の学生に対し、大臨技活動の啓発を目的に大臨技ニュースの配布や卒業式時に大臨技会長賞の授与を行います。

3. 事務体制の強化

事務体制については、会員管理の強化を図るため平成 23 年度から導入した大臨技会員管理システムの運用を始め、大臨技会員証の発行、大臨技のみの会員のための大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理を行います。

財務管理についても、公益社団法人に準拠した適正な財務管理を継続し、主務官庁である大阪府へ当該年度の財務管理関連報告ならびに事業報告を行います。

4. 府民ならびに関連団体との交流の推進

府民ならびに関連団体との交流については、府民および他職種の方々に対して積極的にホームページ等で公開講座の広報を行い、参加した府民の方々の健康保持・増進への貢献や他職種の方々への情報提供を行います。

府民公開講座については、渉外部が担当して、大阪府薬剤師会ならびに大阪府栄養士会と共催する府民健康フォーラムを 11 月 17 日に開催。また、同日に日臨技と共催して、府民を対象とした検査と健康展も開催します。大阪府放射線技師会と共催する大放技・大臨技合同フォーラムは、平成 26 年 1 月 18 日に開催します。

また、これらの関連団体とはホームページ上での相互リンク等により情報の共有化を図り、その他の団体とも現在 31 団体ある大阪府地域医療推進協議会への参画により連携を図ります。

5. 社会貢献活動の推進（渉外部）

渉外部が担当する社会貢献活動の推進については、医療関連団体である当会が率先して輸血用血液製剤確保のため街頭で献血の呼びかけを行う献血推進活動は年 2 回行っていますが、次回は平成 26 年 2 月を予定しています。

予防啓発事業の推進については、HIV 予防啓発講演会を 11 月 30 日に、がん検診フォーラムを平成 26 年 3 月に開催いたします。

以上、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

②事業局 竹浦副会長より

公益法人移行後の平成 25 年度の事業局の事業計画案について述べます。

1. 学術部は、

- 1) 公益事業としての学術部講演会や部門別研修会、講演会を開催する。
- 2) 他事業部の企画に協力する。
- 3) 他団体との学術交流活動に協力する。
- 4) 府下教育機関との共同事業を開催するための準備会議へ参加する。

2. 情報組織部は、

1) 情報組織部

- (1) 他職種合同チーム医療研修会を、平成 25 年 9 月 21 日に「検査技師及び他職種医療従事者を対象としたチーム医療活動における横断的研修会」をテーマとして開催した。
- (2) 技師長会を、平成 25 年 2 月 22 日に「検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携をとり、組織の強化につなげる」をテーマとして開催する。
- (3) チーム医療部門との連携により、技師のチーム医療への参画を支援する。

2) チーム医療部門

(1) 糖尿病療養指導部会

- ① 糖尿病療養指導定例勉強会を、平成 25 年 9 月 11 日、11 月 13 日に「糖尿病療養指導における知識と向上」をテーマとして開催する。
- ② 糖尿病療養指導士講演会を、平成 26 年 2 月 23 日に「臨床検査技師による糖尿病療養指導の充実および他職種との連携」をテーマとして開催する。

(2) ICT 部会

- ① 定期講習会を、平成 25 年 10 月 25 日、平成 26 年 2 月 7 日に「ICT 活動における検査技師の価値を上げよう・微生物検査室がなくても出来る感染対策」、「感染対策実践報告」をテーマ

として開催する。

(3) NST・褥瘡部会

① NST・褥瘡講演会を、平成25年9月28日、平成26年1月25日に開催する。

(4) 生殖医療技術部会

① 生殖医療講演会を、平成26年2月に開催する。

(5) 内視鏡検査部会

① 内視鏡検査部会講習会を、平成25年11月、平成26年2月、平成26年3月に開催予定。

3. 地区事業部

1) 地域の会員相互の交流を強化する。

2) 自由集会及び、地域オープンセミナーを開催する。

3) 府民参加型健康啓発事業に関する協力をする。

以上、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

<質疑応答>

朝山均氏（日本医学臨床検査研究所）より、日臨技が目指す検査説明・相談ができる臨床検査技師の育成は、将来に向かって大きなビジョンとなるため、実現する道筋として大臨技が開催している技師長会での展開をお願いしたいとの要望があった。

これに対し、竹浦副会長より、日臨技主催で「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会」が平成25年12月6日から8日の3日間行われ、当講習会に大臨技からも参加し、その後、大臨技で活動を広めて行くことを伝えた。

以上の第2号議案「公益法人移行後事業計画に関する件」は挙手多数により承認された。

3) 第3号議案 公益法人移行後予算に関する件

荒木常務理事より平成25年9月2日から平成26年3月31日迄の予算説明を行った。

収入の部で会費収入11,988,000円、事業収入7,042,000円、補助金収入1,400,000円、雑収入500,000円で当期収入合計は20,930,000円。支出の1で人件費4,010,000円、会議費280,000円、事務経費2,550,000円、事務所費1,740,000円で支出の部1で8,580,000円。支出の2は学術研究費6,950,000円、広報費1,240,000円、情報組織費1,430,000円、渉外費1,080,000円、地区事業費570,000円、各種研修会10,000円、各種委員会費870,000円、諸経費200,000円で支出の2で12,350,000円支出1と支出2の合計で20,930,000円となる。

ご審議の程、よろしくお願いいたします。

<質疑応答>

宇津野美弥子氏（南大阪病院）から現予算の配分に関し、一事業に掛かる費用はさほど変わらないので、参加費の多い少ないにかかわらず公平な予算配分をして欲しいとの要望があった

これに対し、荒木常務理事より、予算については各部門が提出している予算を配分しているとの返答があった。

また、高田常務理事より、学術部の予算は大臨技からの補助と参加費で賄っているのが現状である。原則、各部門が提出している予算を学術予算として計上している。事業費は参加費で運営されているので収支が合うように予算を組むようお願いしていることを伝えた。

以上の第3号議案「公益法人移行後予算に関する件」は挙手多数により承認された。

4) 第4号議案 新役員に関する件

運天会長より、新役員は特例民法法人の役員が引き続き就任することを伝えた。

以上の第4号議案「新役員に関する件」は質問、意見もなく挙手多数により承認された。

8. 報告事項

1) 理事会承認事項 特例民法法人事業報告

① 総務部

栗本理事より、庶務および広報の2つの部会について順に報告があった。

I 庶務：大臨技の運営に関わる業務として

1. 定期総会の開催

1) 平成25年度第1回定期総会(平成24年度決算総会)を、平成25年5月23日(木)に開催した。

2. 会議の開催準備および開催

1) 常務理事会を大臨技事務所で5回開催した。

2) 理事会を大臨技事務所で5回開催した。

3) 総務・会計部会を大臨技事務所で5回開催した。

3. 平成24年度事業報告書の作成および大阪府への報告を行った。

4. 公益社団法人化への準備を行った。

5. 臨床検査教育機関との連携を行った。

6. 大臨技会員管理システムの管理を行った。

7. 大臨技会員証を発行した。

8. 平成25年度からの大臨技会費納入方法変更に伴う対策および広報を行った。

9. 大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理を行った。

II 広報：

1. 大臨技会報「通巻 第199号 平成25年9月31日(WEB版)」を発行した。

2. 大臨技ニュース「通巻 第291号～第295号」(5回)を毎月1日に発行した。

3. 大臨技ホームページの更新を行った。

1) 大臨技ホームページを随時更新した。

2) 求人掲示板への掲載依頼に対応した。

3) 平成25年5月1日よりWEBサーバーをファーストサーバーからXサーバーに移行した。

以上、特例民法法人平成25年度総務部の事業報告をいたします。

② 渉外部

清水理事より3事業の報告があった。

1. 献血推進活動

1) 第40回献血活動推進活動を、平成25年8月17日(土) 難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルームにおいて行った。献血受付者数が159名、献血者数が134名であった。

2. 他団体との連携交流

1) 大阪府「看護の日」記念行事を、平成25年5月11日(土) 世話人18名により、血糖値測定235件、頸部エコー213件を行った。

2) 子宮頸がん検診啓発活動およびがん検診啓発活動を、平成25年4月27日(土) 大丸心斎橋店周辺で行った。

3. 手話講演会

手話講演会を、平成25年7月13日(土) 日本医療技術学園専門学校にて、「医療現場に必要な手話」をテーマとして開催した。参加人数は93名であった。

4. 渉外部会を大臨技事務所において5回開催した。

以上、特例民法法人平成25年度渉外部の事業報告をいたします。

③ 情報組織部

井戸田理事より情報組織部の事業報告があった。

情報組織部では新人の教育研修と技師会への入会斡旋、検査技師のチーム医療への参画とスキルアップ、他職種との情報共有を目的に事業を開催した。

1. 新入会員研修会を平成25年8月3日に開催し、新人への技師会活動について理解を深めるための研修と交流を行った。50名の参加があった。

2. 9月に開催予定の多職種合同チーム医療研修会の企画等を含め、定例会5回を大臨技事務所にて開催した。

3. チーム医療部門においては、糖尿病療養指導部会が糖尿病透析予防指導の実際をテーマに平成25年7月28日に講演会を開催し、参加者数は94名であった。また、定例勉強会を4月と6月に2回開催し、各々36名と34名の参加があった。

以上、特例民法法人平成25年度情報組織部活動の事業報告をいたします。

④ 地区事業部

田畑常務理事より地区事業部の報告があった。

平成 25 年度は、1. 地域の会員相互の交流強化。2. 各支部における自由集会及び、地域医療フォーラムの開催。3. 府民参加型健康啓発事業に関する協力。を事業計画に従い事業活動を行った。

1. 会員相互の交流強化の事業としての会員交流会および施設連絡者会の開催準備を行った。
2. 自由集会及び、地域フォーラムの開催事業として、北支部および南支部において、それぞれ1回の自由集会を開催した。

1) 北支部では、大阪医科大学にて、5月25日「POCTの現状と将来展望」をテーマに開催した。内容は、① POCTとは、② POCコーディネータの役割、③ 将来展望 (POCTの可能性)、④ 精度管理・トラブルシュートについて

2) 南支部では堺市産業振興センターにて7月20日「将来の夢とR-CPC」をテーマに開催した。内容は、① 技師教育に関するアンケート調査報告、② 若手技師のお話し、③ 臨床検査技師のおすすめスキルアップ ④ 「R-CPC」症例提示・解説

両支部とも充実した内容の自由集会が開催できた。

中央支部自由集会、各支部のオープンセミナーについては準備中のため開催に至らず。

3. 府民参加型健康啓発事業に関する協力として、大阪南港 A T Cホールにおいて、7月6日・7日マタニティーカーニバル 2013 体験コーナーを運営した。これは、5年目の協力事業となり、2日間で21,800人を超える来場者があり、体験コーナーも充実したものとなった。今後も府民のための公益活動として、参加協力したいと考えます。

吹田市、摂津市における健康展は準備中のため開催に至らず。

以上、特例民法法人平成 25 年度地区事業部活動内容について報告をいたします。

⑤ 学術部

高田常務理事より学術部の報告があった。

I 学術部会関係

1. 学術部会を大臨技事務所において4回開催した。
2. 他事業部の事業に協力した。
3. 他団体との学術交流に参加した。

II 研修会

第8回大臨技教育セミナーを平成 24 年 7 月 20 日(土) 関西医科大学加多乃講堂で、開催し 225名の参加があった。教育講演では、「iPS細胞研究の基礎と応用の今」と題して、京都大学 iPS細胞研究所の中川先生に講演をお願いした。

III 日臨技学会・近臨支部学会関係

第62回日本医学検査学会を社団法人香川県臨床検査技師会の担当で開催した。

メインテーマ：健康への道標（みちしるべ） 予防医学における臨床検査技師の役割

日程・会場：平成 25 年 5 月 18 日(土)～19 日(日) サンポートホール高松、かがわ国際会議場他司会および座長 9 名を推薦し、演題数 51 題の発表があった。

IV 部門・分野関係

10 部門で各種講演会等を 68 回開催し 4720 名の参加があった。

公益法人に向けて他職種・府民公開講座を開催し、一般・医療関係者の支持を頂いた。

各部門の世話人の工夫により会員のスキルアップの新しい視点の視野に修得に寄与したと思います。

以上、特例民法法人平成 25 年度学術部活動内容について報告をいたします。

<質疑応答>

喜舎場智之氏（阪南中央病院）より日臨技生涯教育履修制度における、研修会等の基礎教科と専門教科の振り分け方についての質問があった。

これに対し、吉本副会長から日臨技生涯教育履修制度の教科と科目および履修点数は、各部の研修会企画担当者が日臨技総合情報管理システム（JAMTIS）に研修会情報を登録する時点で決定されるが、大臨技ニュース等に研修会情報の掲載依頼時に、広報担当責任者および事務局責任者によりその妥当性がチェックされ修正される場合もありうるとの回答がなされた。

2) 特例民法法人監査報告

栗本監事より、定款 35 条の規定により特例民法法人最終事業年度である平成 25 年 4 月 1 日から 9 月 1 日までの監査を、栗本監事ならびに山中監事で実施し、その結果について報告があった。

1. 会務について

平成 25 年度定期総会において、決議された事業計画については、円滑に遂行されていることを認めます。

事務局および事業局の各部は、特例民法法人最終年度において、府民への医療情報提供の充実、会員への迅速で適切な情報公開そして会員ニーズに適合した教育・研修の実施および公益法人移行のための公益事業の充実や定款、規定、会計報告、会員管理の変更対応など迅速かつ適正に会務を遂行されており高く評価いたします。

2. 会計について

損益計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録をはじめ各帳簿ならびに各証拠書類の整理および備品管理は指摘事項なく適正に行われていると認めます。

3. 意見及び要望事項

公益社団法人認定取得のために運天会長はじめ執行部の皆様が払われた努力と熱意に感謝申し上げます。年度途中の公益法人移行となり移行作業が大変ですが、早急に公益社団法人としてふさわしい組織体制の確立、公益目的事業の遂行を実施し、技師会会員として評価を得られるよう、一層努力されることを希望いたします。

以上「特例民法法人監査報告」は質問、意見がなかった。

9. 議事録署名人選任

安江議長より、議事録署名人として本日出席者の中から、高田裕子氏（明生病院）、喜舎場智之氏（阪南中央病院）が選任された。

以上の議事録署名人の選任について、出席会員の挙手をもって承認された。

10. 総会役員解任

安江議長が、本総会の役員および書記を解任した。

11. 議長挨拶

安江議長より議長退任の挨拶があった。

12. 閉会の辞

竹浦副会長より、公益認定後の短期間での協力体制に大臨技の結束を感じこれからも公益社団法人の名に恥じないように活動を続けていくことを伝え、平成 25 年度第 1 回定時総会閉会の辞とした。

以上

平成 25 年 10 月 24 日

議 長 上 遠 野 明 印

同 安 江 智 美 印

議事録署名人 高 田 裕 子 印

同 喜 舎 場 智 之 印